

MX-30 EV MODEL に電気をチャージング。その電力を電気製品・建物に給電

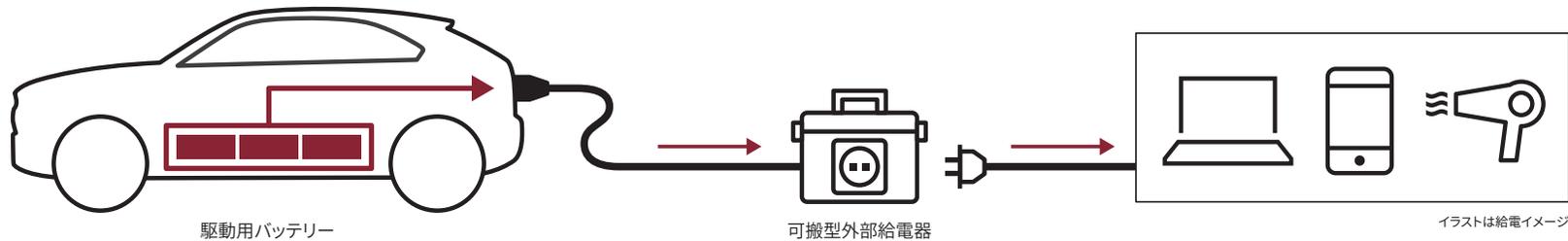
V2Lについて

V2LとはVehicle to Loadの略称であり、駆動用バッテリーに蓄えた電力を、電気製品等に自動車から給電するシステムのことを指します。MX-30 EV MODELでは、可搬型外部給電器を介した給電と車両に装備されているAC電源からの給電が可能です。

可搬型外部給電器を介した給電

可搬型外部給電器を車両に接続することで、様々な電気製品をご利用いただけます。可搬型外部給電器をトランクに収納し持ち運べば、災害時に避難所などの屋外で電気製品の電源としてご利用いただけます。詳しくはMX-30 EV MODELオフィシャルサイトをご確認ください。

※可搬型外部給電器を介した給電を行うには、別売りの「可搬型外部給電器」が必要です。可搬型外部給電器については、可搬型外部給電器を取り扱っているメーカーにご確認ください。



AC電源からの給電

電圧100V、消費電力は150W(フロントコンソール前側)と1500W(ラゲッジルーム)の2種類です。

150W給電は車両の電源がACCまたはONのとき、1500W給電は車両の電源がON (EVシステムOFF) のときに電気製品の電源として、使用できます。

<対象グレードは Technical Informationをご確認ください>

電気製品例 ※マツダ調べ

						
ノートパソコン 45W	スマートフォン 5~18W	携帯電話 27W	扇風機 41W	作業灯 12.4W	ドライヤー 1200W	掃除機 1500W



※画像は、AC150W電源です。

※注意事項

●規定内の電力容量である電気製品でも使用できない場合があります。 ●AC電源に複数の電気製品を接続しないでください。発煙・発火の原因となります。 ●既定の電力容量を超える電気製品を使用しないでください。誤動作の原因となります。 ●使用する電気製品の取扱書や製品に付属する注意書きをご確認のうえ、利用してください。

⚠警告:AC電源を使用するときは、感電、発煙、発火を防ぐため、守っていただきたいことがございます。詳細は取り扱い説明書をご確認ください。



MAZDA MX-30 EV MODELの取り扱いがない販売会社もございます。詳しくはホームページをご覧ください。



<https://mzd.bz/evdls>

MX-30 EV MODELの給電機能については、

<https://www.mazda.co.jp/cars/mx-30evmodel/feature/>をご確認ください。

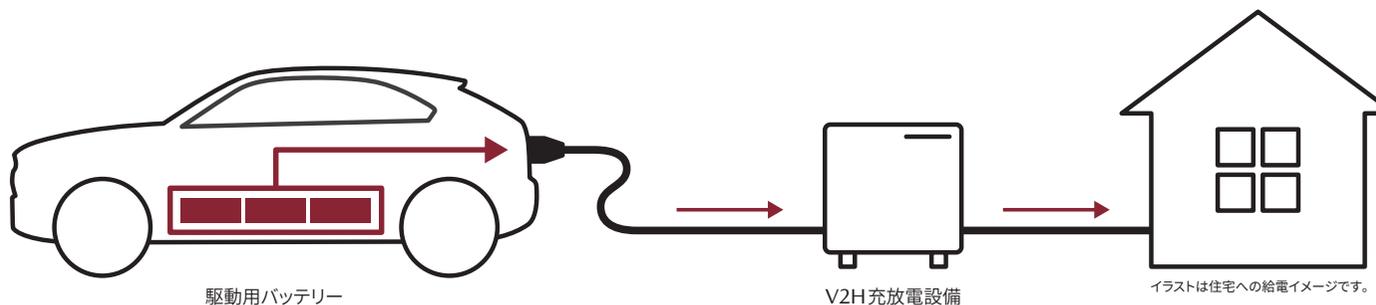


V2Hについて

V2HとはVehicle to Homeの略称であり、駆動用バッテリーに蓄えられた電力を、建物に設置されているV2H充放電設備に接続することで、建物に給電するシステムのことを指します。

停電時にもMX-30 EV MODELから給電することで、様々な電気製品をご利用いただけます。詳しくはMX-30 EV MODELオフィシャルサイトをご確認ください。

※V2H充放電設備を介した給電を行うには、別売りの「V2H充放電設備」が必要です。V2H充放電設備については、V2H充放電設備を取り扱っているメーカーにご確認ください。



ご自宅への設備の設置

充電器について

ご自宅で充電をする場合、電気工事が必要となります。充電器の設置工事についてはマツダの販売会社がサポートいたします。

おすすめの充電器

商品(壁面取付タイプ)	充電出力	こんなお客様におすすめ
充電用屋外コンセント 	3kW	<ul style="list-style-type: none"> ●省スペースかつ手頃に設置したい ●外部の充電スポットでの充電をメインに考えている
充電ケーブル付普通充電器 デマンドコントローラー付* 	6kW	<ul style="list-style-type: none"> ●クルマの使用頻度が多く/ 走行距離が長く、充電時間を短縮したい

※家庭の電気の契約容量を超えないようにEV充電に消費される電力を制御することが可能。

*MX-30 EV MODELの詳しい操作方法については、取り扱い書をご確認ください。

V2H充放電設備について

ご自宅へ給電を行う場合、V2H充放電設備の設置が必要となります。V2H充放電設備の設置工事についてはマツダの販売会社がサポートいたします。

※おすすめのV2H充放電設備は充電器としてもご利用いただけます。

おすすめのV2H充放電設備

商品	性能 / 機能
EVパワー・ステーション 	プレミアムモデル 製品の詳細についてはニチコン株式会社のWebサイトをご覧ください。 (外部リンク) https://www.nichicon.co.jp/products/v2h/index.html スタンダードモデル

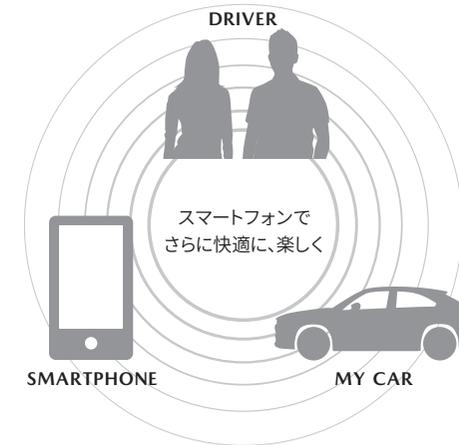
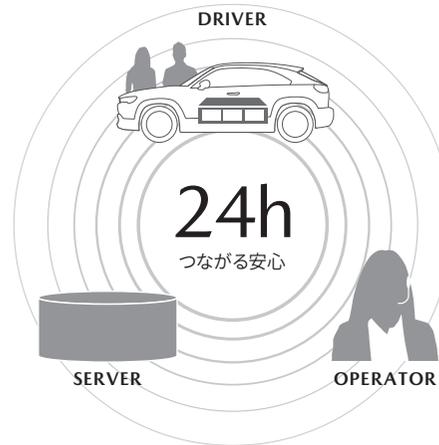
設置工事について

マツダの販売会社では、充電器・V2H充放電設備の調達・施工を行う電気工事業者のご手配を承ります。記載のおすすめの充電器・V2H充放電設備は、電気工事業者「株式会社JM」にて調達・施工が可能です。また、販売会社が独自に電気工事業者並びに充電器・V2H充放電設備のご手配を行っている場合もございます。詳しくは販売会社スタッフにご相談ください。

■株式会社JM (外部リンク) <https://www.matabee.com/mazda/>

人とクルマのつながりを広げるコネクティッドサービス <標準装備>

クルマとマツダがネットワークでつながり、24時間365日さまざまな場面でお客様のカーライフをサポートするサービスです。例えば、事故や急病などの“もしも”の際は、クルマがオペレーターとつながることで迅速に緊急車両を手配することができます。また、スマートフォン専用アプリ「MyMazda」と連携することで、クルマの状況やドアの閉め忘れなどを通知するサービスもご利用いただけます。お客様のカーライフをより快適に、安全に、そして安心して楽しく過ごせるようサポートします。



- *コネクティッドサービスはマツダ株式会社が提供するサービスです。
- *サービスのご利用にあたっては、別途店頭ご契約手続きおよびサービス開始手続きが必要となります。
- *車載通信機単体でも一部サービスはご利用いただくことができますが、
お客様のスマートフォンから専用アプリ「MyMazda」をダウンロードいただくことで、より多くのサービスをご利用いただけます。
- *通信環境等により、サービスがご利用いただけない場合があります。また、各種機能の作動には一定の条件があります。
詳しくはWEBサイトをご確認ください。<https://www.mazda.co.jp/carlife/connected/>
- *安全のため、走行中は一部の操作や画面表示が制限されます。
- *サービス内容は2022年10月現在のものです。予告なく変更・中止される場合があります。
- *コネクティッドサービスの内容および契約手続きの詳細は、営業スタッフにおたずねください。
- *車載通信機で使用している内部電池には寿命があります。

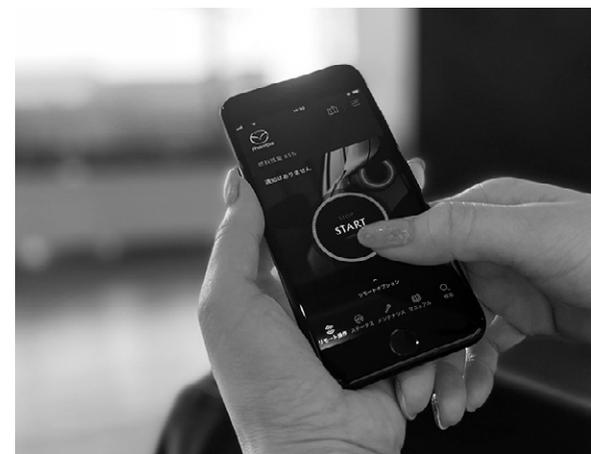
愛車と重ねる歳月を、コネクティッドサービスでもっと豊かに

■ 安心・安全機能を10年無料

お客様の安心・安全をできる限り長い間サポートしたいとの思いから、安心・安全機能を10年間無料としました。マツダエマージェンシーコールでは、重大な事故・故障の際に専門オペレーターが対応。警察・救急、保険会社、マツダ販売店と連携してお客様を迅速にサポートします。

■ 快適・楽しむ機能を3年間無料でお試し ~4年目以降は「コンフォートプラン」へ

快適・楽しむ機能は3年間の無料期間終了後、4年目から有料の「コンフォートプラン」として設定。お客様が必要な時に必要な期間、定額で使えるサブスクリプション方式のプランとしました。専用ページ「マツダコネクティッドサービスプラス」からお申込みいただけます。スマートフォンとクルマがつながって、カーライフをもっと楽しく便利にします。



*画像はイメージです。

ご利用までの流れ

1. 店頭でのお申込み

車載通信機を搭載した車両をご契約いただいた際に、店頭にてサービス利用の申込みを行います。お客様ご自身で、専用アプリ「MyMazda」にてお申込みいただくことも可能です。

2. スマートフォン専用アプリのダウンロード

スマートフォンをお持ちのお客様は、サービス利用申込み後、納車時までに「MyMazda」アプリをダウンロードください。ダウンロード以降の入会手続きは店頭にて行います。

3. クルマおよびスマートフォンの接続

利用申込みの完了後、お客様がお持ちのスマートフォンとクルマの認証接続を行います。

コネクティッドサービスの機能

*は、「MyMazda」アプリでご利用いただけるサービスです。

カテゴリ	サービス名	概要
安心・安全	マツダエマージェンシーコール ^{※1}	<ul style="list-style-type: none"> エアバッグ作動時や後突時、もしくはSOSボタンが押された場合、車載通信機から緊急通報と位置情報を発信し、オペレーターがお客様に代わって救急・警察を手配します。ドクターヘリなどを出動させるD-Call Net[®]にも対応しています。 ご要望に応じて、ロードサービスの手配のほか、オペレーターが近隣の販売会社と連携することで、車両受入や修理手配の相談も可能です。
	マツダアドバイスコール ^{※2}	<ul style="list-style-type: none"> 万一、重大な故障が発生した際、センターディスプレイ上で「オペレーターへ相談」を選択するとオペレーターにつながり、アドバイスを受けることができます。 ご要望に応じて、ロードサービスの手配のほか、オペレーターが近隣の販売会社と連携することで、車両受入や修理手配の相談も可能です。 <p><small>*車内からは車載通信機を使用してオペレーターにつながります。 車外からオペレーターに連絡いただく際は、お客様のスマートフォンを使用します（通話料無料）。</small></p>
	コンディションモニター ^{※3}	<ul style="list-style-type: none"> 「MyMazda」アプリでクルマのメンテナンス情報を確認できます。 <p><メンテナンス情報></p> <ul style="list-style-type: none"> エンジンオイル量 / 交換時期 メンテナンス推奨時期など
	バッテリーケア	<ul style="list-style-type: none"> バッテリーに優しい使い方を「MyMazda」アプリへ通知します。
	バグアラーム通知 ^{※4}	<ul style="list-style-type: none"> バグアラームの作動とその要因を「MyMazda」アプリへ通知します。 <p><通知される要因></p> <ul style="list-style-type: none"> ドア / ボンネット / リアゲートまたはトランクのこじ開けなど
基本	ソフトウェアアップデート ^{※5}	<ul style="list-style-type: none"> マツダ コネクットのソフトウェアを車載通信機経由で更新できます。 <p>最新のソフトウェアをダウンロードできる</p>
	リコール通知	<ul style="list-style-type: none"> ご利用のおクルマにリコール情報があった際に、「MyMazda」アプリに通知を行います。
アプリ機能共有	セカンダリー機能	<ul style="list-style-type: none"> メインユーザー1名とセカンダリードライバー（最大4名）がコネクティッドサービスを利用できます。 「MyMazda」アプリで使用する機能を共有できます。

EVならではのコネクティッド機能 ▶
https://mzd.bz/evcon

※1 マツダエマージェンシーコールは、株式会社日本通報サービスが提供する緊急通報サービスです。ドクターヘリが出動できるエリアには限りがあり、時間帯、天候などにより出動できない場合があります。SOSボタンを押した場合は、D-Call Net[®]には対応しません。D-Call Net[®]の詳細は認定NPO法人救急ヘリ病院ネットワーク（HEM-Net）サイト（<http://www.hemet.jp/>）をご確認ください。「D-Call Net[®]」は認定NPO法人救急ヘリ病院ネットワーク（HEM-Net）の登録商標です。※2 事前に担当する販売会社（マイマツダショップ）の登録が必要になります。詳しくは営業スタッフにおたずねください。販売会社またはオペレーターへ接続いただく際には、車両を安全な場所に停車してから行ってください。車両にOBD（On-Board Diagnostics）II 通信を行う機器を接続している場合、正常に機能しない場合があります。センターディスプレイに「オペレーターへ相談」ボタンが表示される場合には、一定の警告灯点灯時に限られます。車両の故障をスマートフォンへ通知するためには、「MyMazda」アプリのインストールおよびアプリの設定が必要です。※3 メンテナンス情報をご確認いただくためには、あらかじめ車両での設定が必要となります。※4 ご利用にはショップオプションの「バグアラーム」の装着が必要です。「MyMazda」アプリのリモートコントロールでドアロックをした場合は「バグアラーム」は作動しません。※5 アップデートできるソフトウェアには限りがあります。※6 駐車場所は最後にイグニッションをOFFにした位置となります。高さに関する情報（立体駐車場の階数など）は表示されません。※7 通知には一定の条件があり、お客様の使用状況によっては届かない場合があります。※8 ドアのアンロックはできません。作動には一定の条件があり、お客様の使用状況によっては作動しない場合があります。※9 ご利用にはショップオプションの「ナビゲーション用SDカードアドバンス」が必要です。別途ナビゲーション画面での操作が必要となります。※10 ご利用にはショップオプションの「ナビゲーション用SDカードアドバンス」が必要です。地図更新には、店舗データ等を含むすべてのデータを更新する地図更新（全更新）と道路の地図データのみを更新する地図更新（差分更新）があります。地図更新（全更新）は、インターネットを通じてお客様ご自身で行っていただく必要があります。有効なナビゲーション用SDカードアドバンスが車両に挿入されており、かつコネクティッドサービス利用契約が有効な期間にご利用いただけます。ご利用いただける実際の回数および期間はお客様によって異なります。データの配信のタイミングは変動する場合があります。詳しくはWEBサイトをご確認ください。https://www.mazda.co.jp/carlife/connected/

カテゴリ	サービス名	概要
快適・楽しむ	カーファインダー ^{※6}	<ul style="list-style-type: none"> 「MyMazda」アプリでクルマの駐車場所をマップ上で確認できます。 <p>駐車位置を確認できる</p>
	リモートチャージ	<ul style="list-style-type: none"> 充電の準備を済ませておけば、「MyMazda」アプリのリモートコントロールを使って駆動用バッテリーの充電ON/OFFができます。
	リモートエアコン	<ul style="list-style-type: none"> 「MyMazda」アプリのリモートコントロールを使って、車内のエアコンを作動 / 停止させることができます。 「MyMazda」アプリのリモートモニターでエアコン作動状況が確認できます。 <p><リモートエアコンで操作できる機能></p> <ul style="list-style-type: none"> エアコンのON/OFF 車内温度設定 くもり止め（フロント / リア）のON/OFF
	リモートモニター	<ul style="list-style-type: none"> 「MyMazda」アプリでクルマの状態を確認できます。 <p><確認可能な項目></p> <ul style="list-style-type: none"> バッテリー残量（%） 充電プラグ挿入状態 充電状態 走行可能距離 バッテリーヒータ作動状態 バッテリーヒーターモードの設定状態 充電完了までの時間 充電開始予約時間 車内温度レベル エアコン作動状態 くもり止め作動状態（フロント / リア） オドメーター（走行距離） ドア / ボンネット / リアゲート開閉状態 ドア施錠 ハザードランプ点灯状態 <p>*リモートコントロール / うっかり通知と連携します。</p>
	うっかり通知 ^{※7}	<ul style="list-style-type: none"> タイマー充電開始の1時間前に、正しく充電コネクタが挿入されていない場合に通知します。 ドライバーのうっかり忘れを電源OFFから約3分後に「MyMazda」アプリに通知します。 <p><通知される項目></p> <ul style="list-style-type: none"> ドア / ボンネット / リアゲートまたはトランクの閉め忘れ ドアロック忘れ（フロントドア） ハザードランプ消し忘れ スモールランプ消し忘れ <p>*リモートコントロール / リモートモニターと連携します。</p>
	充電スポット検索	<ul style="list-style-type: none"> 「MyMazda」アプリの地図検索画面から、近くの充電スポットを検索し、目的の送信と連携できます。
	リモートコントロール ^{※8}	<ul style="list-style-type: none"> 「MyMazda」アプリでクルマの一部機能を遠隔操作できます。 <p><操作可能項目></p> <ul style="list-style-type: none"> ハザードランプON/OFF ドアロック <p>*リモートモニター / うっかり通知と連携します。</p>
	目的地送信 ^{※9}	<ul style="list-style-type: none"> スマートフォンで設定した目的地をクルマのナビゲーションに送信します。 一度に3カ所まで目的地情報を送信することができます。送信した目的地の経路順はマツダ コネクットから設定します。 「MyMazda」アプリ以外のスマートフォン地図アプリとの連携も可能です。
	地図更新（差分） ^{※10}	<ul style="list-style-type: none"> 道路の地図データを車載通信機経由で更新することができます。 <p>*原則、月1回のデータ配信。</p>

サービス構成・料金

カテゴリー	サービス名	無料期間	初年度登録	3年	10年			
安心・安全	マツダエマージェンシーコール	10年	10年無料					
	マツダアドバイスコール							
	コンディションモニター							
	バッテリーケア							
	バーグラアラーム通知							
基本	ソフトウェアアップデート	10年	10年無料					
	リコール通知							
快適・楽しむ	カーファインダー	3年	3年無料					
	EVサポート					リモートチャージ	コンフォートプラン 月額220円 年額2,420円 ^{※1※2}	
						リモートエアコン		
						リモートモニター		
						うっかり通知		
						充電スポット検索		
	リモートコントロール							
	目的地送信							
地図更新(差分)	ナビSDカードの更新期限内でご利用いただけます。							
アプリ機能共有	セカンダリー機能	MyMazdaアプリを使うと、1台のクルマで最大5人までサービスがご利用いただけます。						

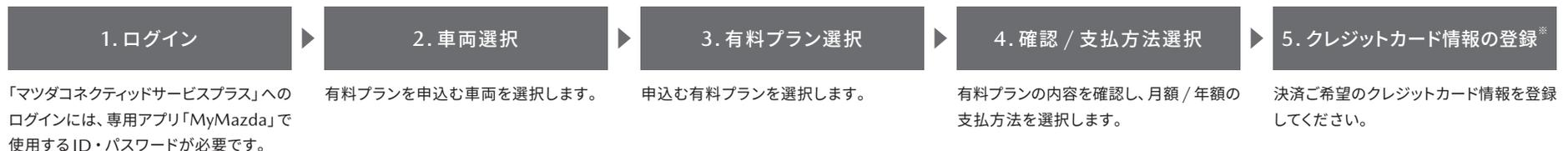
※1 税込料金。

※2 各種有料プラン・機能は、月または年単位での自動継続課金となります。ご利用を中止される場合は、次回更新日までに必ず解約手続きを行っていただく必要があります。

有料サービスのお申込み方法

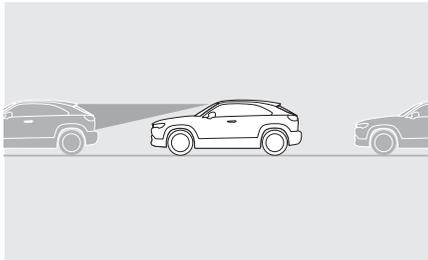
■ 有料サービスをご利用いただくためには、専用サイト「マツダコネクティッドサービスプラス」でのお客様によるお申込み・決済が必要となります。

「マツダコネクティッドサービスプラス」は、定額有料サービスの新規ご契約を含めた、各種契約管理が行えます。



※ お支払方法はクレジットカードのみです。その他の支払方法や、販売会社を通じてのお支払いはできないことをご承知ください。

ヒューマンエラーによる事故の回避、被害軽減をサポートする安全技術



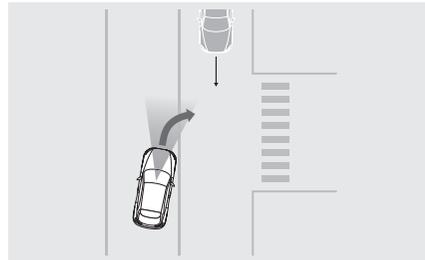
前方車・歩行者・自転車を検知する **運転支援機能**
スマート・ブレーキ・サポート
【前方検知機能】(SBS) ※1※2※9

レーダーセンサーおよびカメラが前方車、歩行者（昼間 / 夜間）、自転車（昼間）へ衝突する可能性があると判断したとき、ディスプレイの表示と警報音でドライバーに衝突の危険性を知らせます。衝突を回避できないと判断すると、ブレーキ制御を行うことで衝突時の被害の軽減を図ります。ドライバーがブレーキペダルを踏んだ場合は、ブレーキが素早く確実にかかるようサポートします。

<標準装備>

- 対象が前方車：約4km/h以上
- 対象が歩行者 / 自転車：約10km/h～約80km/h

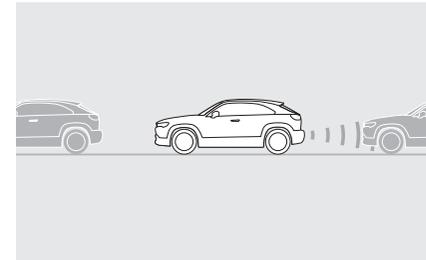
*イラストは機能説明のイメージです。



交差点での右折時に対向車を検知する **運転支援機能**
スマート・ブレーキ・サポート
【右直事故回避アシスト機能】(SBS) ※1※2※9

約4～20km/hで走行中に交差点で右ウインカーを点けて右折しているとき、自車と対向車との間の中央線を認識している場合、レーダーセンサーおよびカメラで対向車線を直進してくる車両を検知。衝突する可能性があると判断すると、ディスプレイの表示と警報音でドライバーに危険性を通知します。衝突を回避できないと判断した場合、ブレーキ制御を行うことで衝突時の被害の軽減を図ります。

<標準装備>

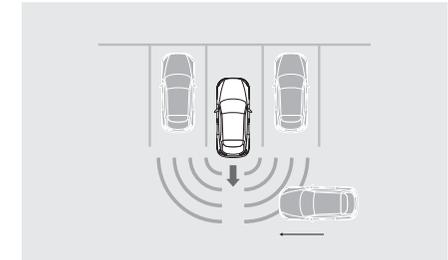


後進時に車や障害物を検知する **運転支援機能**
スマート・ブレーキ・サポート
【後方検知機能】(SBS-R) ※2※9

約2～8km/hで後退中に後方の障害物を超音波センサーが検知し、衝突を回避できないと判断したとき、ブレーキ制御によって衝突時の被害の軽減を図ります。

<標準装備>

- リアパーキングセンサー（センター / コーナー）：リアバンパーの超音波センサーで近距離の静止物を検知し、警告音でドライバーに知らせます。



後進時に左右から接近する車を検知する **運転支援機能**
スマート・ブレーキ・サポート
【後進時左右接近物検知機能】(SBS-RC) ※3※9

0～約10km/hで後退中に自車の左右や後方に接近してきた車両を検知。衝突を回避できないと判断したとき、ブレーキ制御を行うことで衝突時の被害の軽減を図ります。

<標準装備>

安全運転サポート車（サポカーS・ワイド）に該当



経済産業省や国土交通省など普及啓発を推進している、高齢者を含む運転者を先進安全技術で支援し交通事故防止を図る「安全運転サポート車（サポカーS・ワイド）」に該当しています。サポカーS・ワイドは、被害軽減ブレーキ（対歩行者）、ペダル踏み間違い時加速抑制装置、車幅逸脱警報、先進ライトを搭載した車です。

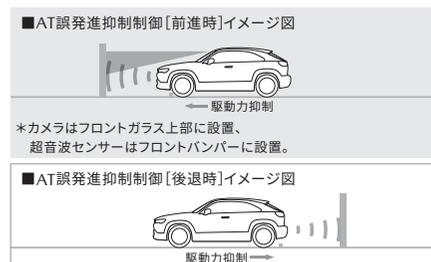


対象車種、サポカーSの区分についてはマツダ公式サイトに掲載しております。上記QRよりご覧ください。



※1 対象物（特殊な外観をした車両、部分的に見えている、隠れている、もしくは背景に溶け込んでいる車両と歩行者など）、天候状況（雨・雪・霧など）、道路状況（カーブが連続する道路、夜間や夕暮れなど視界の悪い時など）などの条件によっては適切に作動しない場合があります。※2 対象物（レーダー波または超音波を反射しにくい形状の車両など）、天候状況（雨・雪・霧など）、道路状況（カーブが多い、坂の繰り返しなど）などの条件によっては適切に作動しない場合があります。※3 天候状況（雨・雪など）、隣接する壁や接近車両の状況などの条件によっては適切に作動しない場合があります。※4 道路状況（急カーブ、急な坂道など）、天候状況（雨・雪・霧など）、障害物の形状（低い・小さい・細いなど）などの条件によっては適切に作動しない場合があります。※5 周囲に光源があるとき（街灯・信号機など）、天候状況（雨・雪・霧など）、道路状況（カーブが多い・起伏が激しいなど）などの条件によっては適切に作動しない場合があります。システムを過信せず、つねに周囲の

ヒューマンエラーによる事故の回避、被害軽減をサポートする安全技術 / 危険の芽「ヒヤリ・ハット」を減らすための安全技術



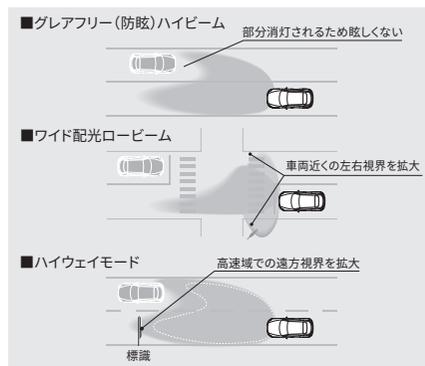
ペダルの誤操作による急発進を抑制する **運転支援機能**

AT 誤発進抑制制御

[前進時 / 後退時] ※2※4※9

徐行中 (前進時: 約15km/h以下、後退時: 約10km/h以下) や停車時、カメラや超音波センサーが前方または後方に車両や壁などの障害物を検知しているにもかかわらず、必要以上にアクセルペダルが踏み込まれたとき、表示および警報音と同時にモーター出力を抑制。前進時には、衝突を回避できないと判断したとき、ブレーキ制御を行うことで衝突時の被害の軽減を図ります。

<標準装備>



安全運転に必要な視認性を確保する

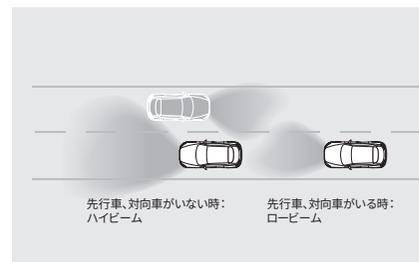
アダプティブ・LED・ヘッドライト (ALH) ※5※9

夜間走行時に先行車や対向車の状況をクルマが判断。ヘッドランプの照射範囲や明るさを自動的に変化させるシステムです。

<対象グレードは主要装備をご確認ください>

- グレアフリー (防眩) ハイビーム: 約30km/h以上で先行車や対向車の状況に応じてハイビームの照射範囲を自動的にコントロール
- ワイド配光ロービーム: 約40km/h以下で車両の左右側方を広く照射
- ハイウェイモード: 約95km/h以上でより遠方を照射

*市街地走行時や外部の照明環境、走行スピードなどにより、機能が一部制限されます。



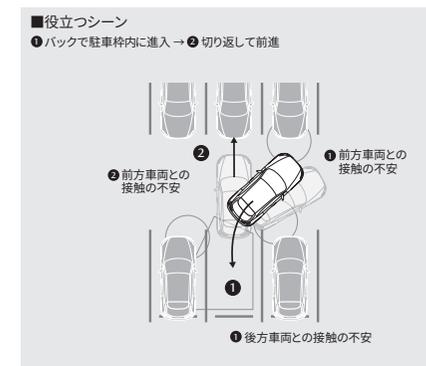
安全運転に必要な視認性を確保する

ハイ・ビーム・コントロールシステム (HBC) ※5※9

夜間走行時に先行車や対向車の状況をクルマが判断。ハイビーム・ロービームを自動的に切り替えるシステムです。

<対象グレードは主要装備をご確認ください>

- ハイビーム: 約30km/h以上で走行中に、前方に先行車や対向車がないとき
- ロービーム: 次の条件のいずれかを満たしている場合に、HBCがヘッドランプを下向き(ロービーム)に切り替えます。
 - ・車速が約20km/h未満のとき
 - ・街灯が並んでいるエリアや路面の明るい街中を走行しているとき
 - ・システムが前方車のランプ類を検知したとき



見えない部分の危険察知をサポートする

360°ビュー・モニター ※6※7※8※9

車両の前後左右にある4つのカメラを活用し、センターディスプレイの表示や各種警報音で低速走行時や駐車時に車両周辺の確認を支援するシステムです。

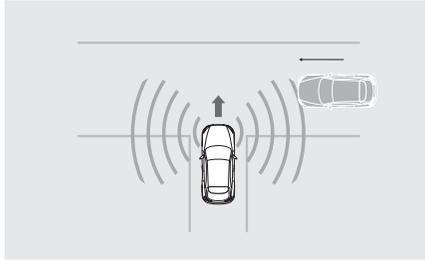
<標準装備>

- トップビュー/フロントビュー/フロントワイドビュー/サイドビュー/リアビュー/リアワイドビュー

*イラストは機能説明のイメージです。

状況に注意して、必要に応じて上向き(ハイビーム)と下向き(ロービーム)を切り替えるなど安全運転を心がけてください。※6 天候状況(雨・雪など)、隣接する壁や駐車車両の状態などの条件によっては適切に作動しない場合があります。※7 カメラが映し出す範囲やセンサーの検出範囲は限られています。また夜間や暗い場所など、使用状況により画質が低下する場合があります。画面はイメージで実際とは異なる場合があります。安全のため、モニターの映像を過信せず目視による安全確認を行いながら運転してください。※8 字光式ナンバープレートとの同時装着はできません。車速約15km/hを超えると画面が消える設定としています。※9 SBS、SBS-R、リアパーキングセンサー、SBS-RC、AT誤発進抑制制御、ALH、HBC、360°ビュー・モニターは、ドライバーの安全運転を前提としたシステムであり、事故被害や運転負荷の軽減を目的としています。したがって、各機能には限界がありますので過信せず、安全運転を心がけてください。●その他、重要な注意事項がございますので、営業スタッフにおたずねいただくか取扱書をご確認ください。

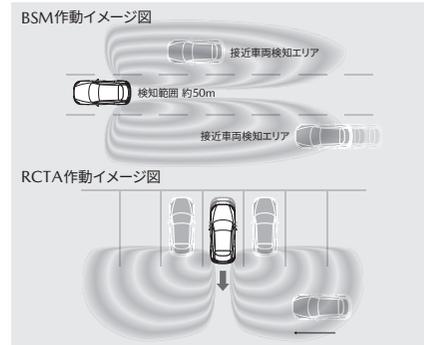
危険の芽「ヒヤリ・ハット」を減らすための安全技術

左右前方からの車の接近を通知する
前側方接近車両検知 (FCTA) ※1※6

交差点へ進入しているときに左右前方の死角から接近する車両を検知して、その接近状態に応じて表示を点灯させます。その状態で発進(約10km/h以下)すると表示が点滅。警報音とともにドライバーに危険を知らせます。

<標準装備>

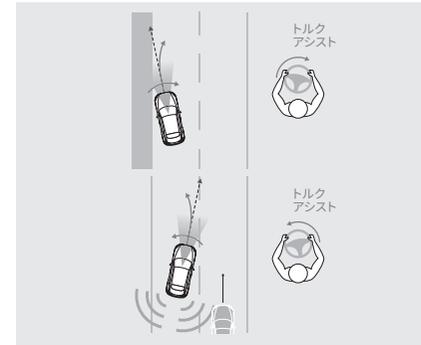
*FCTA:Front Cross Traffic Alert

後方からの車の接近を通知する
ブラインド・スポット・モニタリング (BSM) ※2※6
& 後側方接近車両検知 (RCTA) ※1※6

BSMは後方から接近する車両の存在を知らせ、車線変更時の後方確認を支援するシステムです。約15km/h以上で前進しているときに後方からの接近車両を検知すると、接近状態に応じてドアミラー表示を点灯。その状態で点灯した側にウインカー操作すると、点滅表示と警報音でドライバーに危険を知らせます。RCTAは駐車場などから後退するとき、左右後方に接近した車両を検知してドライバーに警告します。

<標準装備> *RCTA:Rear Cross Traffic Alert

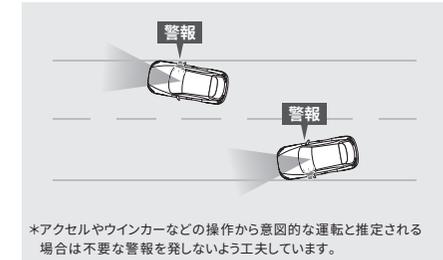
- 検知エリア (BSM) : 自車の左右に隣接する車線で、自車のフロントドア後端から自車の後方約50mまで

車線からの逸脱回避を支援する **運転支援機能**
緊急時車線維持支援[側方危険回避アシスト機能/
ロードキープアシスト機能] (ELK) ※2※3※6

側方危険回避アシスト機能は、車線の白線(黄線)を検知し、かつ後側方から接近する車両との衝突の可能性がある状態で車線変更を行おうとした場合、ドライバーのハンドル操作をアシストして衝突の回避を支援するシステムです。ロードキープアシスト機能はカメラで路肩の芝生や縁石などを検知し、路外へ逸脱する可能性があるとしてシステムが判断するとハンドル操作をアシストします。どちらの機能も約60km/h以上での走行中に作動します。

<標準装備>

*ELK:Emergency Lane Keeping

車線からの逸脱を警告する
車線逸脱警報システム (LDWS) ※3※6

自車が車線から逸脱する可能性があることを知らせるシステムです。約60km/h以上の走行中にカメラが車線の白線(黄線)を検知。自車が車線から逸脱する可能性があるとしてシステムが判断した場合に、警報によりドライバーに知らせます。

<標準装備>

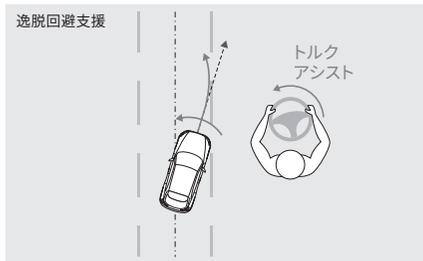
*LDWS:Lane Departure Warning System

*イラストは機能説明のイメージです。



※1 天候状況(雨・雪など)、隣接する壁や駐車車両の状態などの条件によっては適切に作動しない場合があります。※2 天候状況(雨・雪など)、接近車両の状況(自車に接近してこない、速度差がなく長時間並走しているなど)、道路状況(道路幅が極端に広い/狭いなど)などの条件によっては適切に作動しない場合があります。※3 天候状況(雨・雪・霧など)、道路状況(急カーブ・車線幅が極端に広い/狭い・車線の白線(黄線)が見えにくいなど)などの条件によっては適切に作動しない場合があります。※4 対象標識(明るすぎる・暗すぎる・汚れ、雪、木などで隠れているなど)、天候状況(雨・雪・霧など)、道路状況(カーブが連続する道路など)などの条件によっては適切に作動しない場合があります。

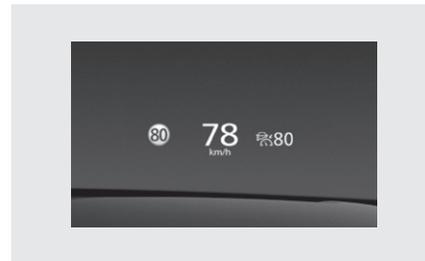
危険の芽「ヒヤリ・ハット」を減らすための安全技術 / 運転負荷を軽減する安全技術



車線からの逸脱回避を支援する **運転支援機能**
レーンキープ・アシスト・システム (LAS) ※3※6

自車が車線から逸脱する可能性がある、ハンドル操作をアシストすることにより車線からの逸脱回避を支援するシステムです。約60km/h以上で走行中に車線の白線(黄線)を検知して、自車が車線から逸脱する可能性があるとしてシステムが判断した場合に、電動パワーステアリングを作動させてドライバーのハンドル操作をアシスト。同時にマルチインフォメーションディスプレイとアクティブ・ドライビング・ディスプレイの表示でドライバーに知らせます。

<標準装備>

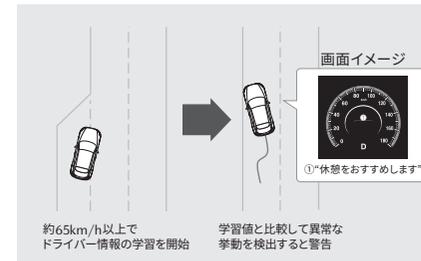


少ない視線移動で表示認識できる **交通標識認識システム (TSR) ※4※6**

走行中にカメラやナビゲーションシステム※7が認識した交通標識を、アクティブ・ドライビング・ディスプレイとメーターに表示することで、交通標識の見落とし防止を図り、安全運転を支援するシステムです。表示した最高速度標識の速度を超過したときは、表示や警報音でドライバーに知らせます。

<対象グレードは主要装備をご確認ください>

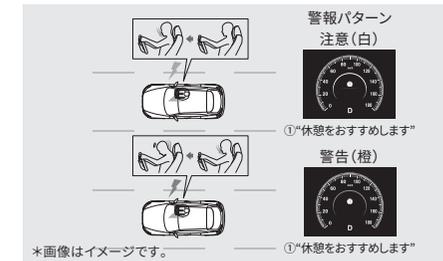
*TSR: Traffic Sign Recognition system
*画像は表示イメージです。実際にはフロントガラスに照射されます。
※7 ナビゲーションシステムを機能させるには、別途ショップオプションのナビゲーションシステム用SDカードアドバンスが必要になります。



ドライバーへの休憩をお勧めする **ドライバー・アテンション・アラート (DAA) ※6**

ドライバーの疲労や注意力の低下を検知し、ドライバーに休憩を促すシステムです。車線内を約65km/h以上で走行しているとき、クルマがドライバーの疲労増加や注意力低下を推定。マルチインフォメーションディスプレイの表示と警報音でドライバーへ休憩を促します。

<標準装備>



ドライバーの眠気・わき見を検知する **ドライバー・モニタリング※5※6**

ドライバーの疲労や眠気を検知し、休憩を促すシステムです。約5km/h以上で走行しているとき、ドライバーモニタリングカメラで顔の各部位の特徴点の変化を検出し、ドライバーの疲労や眠気を推定して、マルチインフォメーションディスプレイの表示および警報音でドライバーへ休憩を促します。

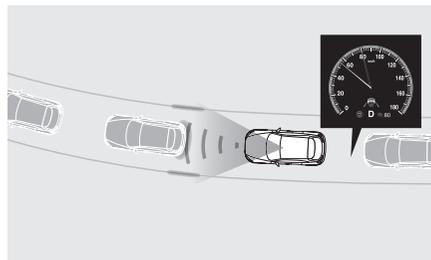
<標準装備>

- 警報パターン(注意):
疲労や眠気を検出した場合
- 警報パターン(警告):
より強い疲労や眠気を検出した場合

*イラストは機能説明のイメージです。

※5 頻りに顔の向きを動かす、目や顔の一部が隠れている、光の環境が大きく変化するなどの条件によっては適切に作動しない場合があります。※6 FCTA、BSM、RCTA、ELK、LDWS、LAS、TSR、DAA、ドライバー・モニタリングは、ドライバーの安全運転を前提としたシステムであり、事故被害や運転負荷の軽減を目的としています。したがって、各機能には限界がありますので過信せず、安全運転を心がけてください。●その他、重要な注意事項がございますので、営業スタッフにおたずねいただくか取扱書をご確認ください。

運転負荷を軽減する安全技術



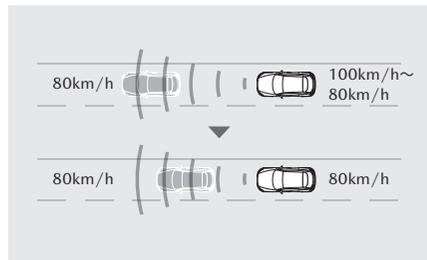
高速道路での渋滞時に
疲労軽減をサポートする **運転支援機能**

クルージング&トラフィック・サポート
(CTS)^{※1※2}

追従走行機能とステアリングアシスト機能により、高速道路や自動車専用道路の渋滞時に運転疲労の軽減をサポートするシステムです。先行車との車間距離を一定に保つ追従走行に加え、車線を検知している場合はステアリングアシスト機能が車線に沿った走行をアシスト。低速で車線を検知していない場合は、先行車の走行軌跡に沿った走行をアシストします。

<対象グレードは主要装備をご確認ください>

- 追従走行機能：0km/h～高速域まで
- ステアリングアシスト機能：
0km/h～高速域まで



車間距離を一定間隔で保つ **運転支援機能**

マツダ・レーダー・クルーズ・コントロール
(MRCC)^{※1※2}

フロントレーダーセンサーが先行車を検知することで、アクセルペダルやブレーキペダルを踏まなくても、設定した速度での定速走行や、車間距離を一定に保ちながら追従走行ができるシステムです。

<装備全車>

- 全車速追従機能付：
0km/h～高速域まで

こちらでマツダ先進安全技術 i-ACTIVSENSE ガイドブックをご覧ください。▶



万が一の事故や衝突による被害を軽減するための技術

キャビンの変形を最小限に抑える

SKYACTIV-VEHICLE ARCHITECTURE

全方位からの衝撃エネルギーを効率的に吸収・分散するフレーム構造を採用。高強度な超高張力鋼板を使った骨格と多方面への環状構造を基本に、衝突時の変形の仕方を最適化するなど、高い衝突安全性能を実現しています。フリースタイルドアを採用するMX-30では、リアドア内部に配置した強固な補強部材をはじめとするさまざまな工夫によって高い衝突安全性能を実現。側面衝突に対しても効率的にエネルギーを吸収・分散し、キャビンの変形を最小限に抑えます。

<標準装備>

衝突時に歩行者の体を守る

歩行者保護

歩行者の頭部を効率的に受け止めてエネルギーを素早く吸収するボンネット構造と、膝周りにかかる力を低減する工夫を取り入れたフロントバンパー構造によって、万一の衝突時に歩行者の傷害を軽減します。

<標準装備>

乗員の体をしっかりと受け止める

SRS^{※3}エアバッグシステム 運転席&助手席、
運転席ニーエアバッグ、カーテン&
フロントサイド

SRS^{※3}エアバッグシステムを全車に標準装備。前方からだけでなく、側面からの衝突時にも前後席の乗員への衝撃を軽減します。さらに運転席には、膝周りの傷害や体の前方移動を抑えるSRS^{※3}ニーエアバッグを採用しました。

<標準装備>

※3 SRS:Supplemental Restraint System(補助拘束装置) 運転席&助手席エアバッグ、運転席ニーエアバッグは横方向や後方からの衝撃、横転および転覆した場合や正面からの衝撃が小さい場合は作動しません。カーテン&フロントサイドエアバッグは横方向からの衝撃を感じた場合、感知した側が作動しますが、正面や後方からの衝突時や衝撃が小さい場合には作動しません。すべてのSRSエアバッグはシートベルトをしたうえで補助拘束装置です。シートベルトは必ず装着してください。

乗員を素早く拘束する

高機能シートベルト

運転席・助手席・後席左右には、衝突初期の拘束性を高めるプリテンショナーと、安定した荷重で乗員を拘束するロードリミッターを装備。また、シートベルトの締め忘れを防ぐシートベルトリマインダーを全席に採用しています。

<標準装備>

※イラストは機能説明のイメージです。



※1 対象物(レーダー波または超音波を反射しにくい形状の車両など)、天候状況(雨・雪・霧など)、道路状況(カーブが多い、坂の繰り返しなど)などの条件によっては適切に作動しない場合があります。※2 CTS、MRCCは、ドライバーの安全運転を前提としたシステムであり、事故被害や運転負荷の軽減を目的としています。したがって、各機能には限界がありますので過信せず、安全運転を心がけてください。●その他、重要な注意事項がございますので、営業スタッフにおたずねいただくか取扱書をご確認ください。

Equipment (主要装備)

MAZDA MX-30 EV MODEL

○:標準装備、△:メーカーオプション、▲:ショッポプション

機種名		EV	EV Basic Set	EV Highest Set	
■セーフティ	[全車標準装備] ●全席ヘッドレスト(上下可動式) ●SRSエアバッグシステム カーテン&フロントサイド ●SRSエアバッグシステム 運転席ニーエアバッグ ●シートベルト フロントシート プリテンショナー&ロードリミッター機構付ELR3点式×2 ●シートベルト リアシート プリテンショナー&ロードリミッター機構付ELR3点式×2(左右席)、ELR3点式×1(中央席) ●シートベルト アンカーアジャスター(運転席/助手席) ●リアシート i-Sizeチャイルドシート対応ISOFIX固定口アアンカレッジ(左右席)&トップテザーアンカレッジ(左右席) ●4輪アンチロック・ブレーキ・システム(4W-ABS) ●電子制御制動力配分システム(EBD) ●ブレーキアシスト ●ブラインド・スポット・モニタリング(BSM) ●後側方接近車両検知(RCTA) *RCTA:Rear Cross Traffic Alert ●ダイナミック・スタビリティ・コントロールシステム[横滑り防止機構](DSC)&トラクション・コントロール・システム(TCS) ●ヒル・ローンチ・アシスト(HLA) ●エマージェンシー・シグナル・システム(ESS) ●AT誤発進抑制制御[前進時] ●AT誤発進抑制制御[後退時] ●緊急時車線維持支援(ELK) ●車線逸脱警報システム(LDWS) *LDWS:Lane Departure Warning System ●レーンキープ・アシスト・システム(LAS) ●マツダ・レーダー・クルーズ・コントロール(MRCC)[全車速追従機能付] ●ドライバー・アテンション・アラート(DAA) ●フロントパーキングセンサー(センター/コーナー) ●リアパーキングセンサー(センター/コーナー) ●ウォーニング(全席シートベルト、ライト消し忘れ、半ドア) ●スマート・ブレーキ・サポート(SBS)[前方検知機能/右直事故回避アシスト機能/後方検知機能(SBS-R)/後進時左右接近物検知機能(SBS-RC)] ●前側方接近車両検知(FCTA) *FCTA:Front Cross Traffic Alert ●360°ビュー・モニター※1 ●ドライバー・モニタリング				
	ハイ・ビーム・コントロールシステム(HBC)		○	○	—
	アダプティブ・LED・ヘッドライト(ALH)		—	—	○
	クルージング&トラフィック・サポート(CTS)		—	—	○
	交通標識認識システム(TSR)		—	○	○
■視界	[全車標準装備] ●LEDハイマウントストップランプ ●LEDヘッドランプ(ハイ/ロービーム) ●オートライトシステム ●LEDドアミラーウインカー ●LEDリアコンビランプ ●パワーウインドー(自動反転機構およびワンタッチ&タイマー付) ●レインセンサーワイパー(フロント) 感度調整式 ●リアワイパー ●全面UVカットガラス※2 ●ダークティンテッドガラス(リアドア/リアクォーター/リアゲート) ●リアウインドーデフォグガー ●バックガイドモニター※1				
	ヘッドランプユニット内シグネチャーLEDランプ		—	—	○
	リアコンビランプユニット内シグネチャーLEDランプ		—	—	○
	デイトタイム・ランニング・ライト(DRL)		—	—	○
	電動格納リモコン式カラードドアミラー ブラック(オート格納)		○	○	○
		ヒーター機能	—	○	○
	自動防眩機能(運転席側)/リバース連動機能付		—	—	○
	スーパーUVカットガラス(フロントドア)+IRカットガラス(フロントガラス/フロントドア)		—	—	○
	防眩ルームミラー		○	—	—
	自動防眩ルームミラー		—	○	○(フレームレス)
■エクステリア	[全車標準装備] ●LEDライセン斯拉ンプ(リア) ●磁気式リアゲートオープナー ●フリースタイルドア ●リアルーフスポイラー ●ELECTRIC デカール				
	ピラーガーニッシュ(ピアノブラック)		—	—	○
	Dピラーメッキ+MAZDAロゴ		—	—	○
■インテリア	[全車標準装備] ●POWERメーター(放充電表示) ●走行可能距離・駆動用バッテリー残量表示 ●平均電力消費率・瞬間電力消費率表示 ●充電状態表示 ●バッテリー残量計/温度計 ●出力制限警告表示/警告灯 ●マルチインフォメーションディスプレイ(MID) ●シフトポジションインジケータ ●パネルライトコントロールスイッチ ●チルト&テレスコピックステアリング ●ステアリング オーディオリモートコントロールスイッチ ●ステアリングホイールパドル ●LEDルームランプ(フロント/リア) ●LEDマップランプ(フロント) ●LEDラゲッジルームランプ ●オーバーヘッドサンングラスホルダー ●アームレスト付コンソールボックス ●サブランクボックス※3 ●フロントカップホルダー×2(リッド付) ●シートバックポケット(助手席) ●ボトルホルダー付ドアポケット(フロント×2/リア×2) ●リアコートフック×2 ●ラゲッジフック×4 ●フットレスト(運転席) ●アシストグリップ(運転席/助手席/後席左右) ●12V電源ソケット ●8.8インチセンターディスプレイ&コマンダーコントロール(タッチパッド機能)※4 ●アクティブ・ドライビング・ディスプレイ(フロントガラス照射タイプ/カラー) ●7インチマルチスピードメーター(TFTカラー) ●インテリジェント・ドライブ・マスター(i-DM) ●ロアディスプレイ				
	ステアリング	ウレタン	○	—	—
		本革巻	—	○	○
		ヒーター	—	—	○
	シフトノブ	ウレタン	○	—	—
		本革巻	—	○	○

※1:カメラの映像に影響を及ぼすため、光字式ナンバープレートの装着はできません。※2:フロントガラスは合わせガラスの採用により、UVカット機能を持たせています。※3:ボーズサウンドシステム装着車は、サブランクボックスの形状が異なります。※4:ショッポプションのナビゲーション用SDカードアドバンスとの同時装着で、停車時ナビゲーション画面でタッチパッド機能が使えます。

Equipment (主要装備)

MAZDA MX-30 EV MODEL

○:標準装備、△:メーカーオプション、▲:ショッポオプション

機種名		EV	EV Basic Set	EV Highest Set	
■インテリア	フロントドアインナーハンドル	シルバー	プラチナサテン	プラチナサテン	
	フロントドアアームレスト 合成皮革	—	—	○	
	リアサイドトリムアームレスト 合成皮革	—	—	○	
	ニーレストパッド 合成皮革	—	—	○	
	バニティミラー 照明付 (運転席/助手席)	—	○	○	
	LEDマップランプ(リア)	—	—	○	
	コルク付プルハンドル	—	—	○	
	トノカバー	—	○	○	
■シート	[全車標準装備] ●助手席ラチェットレバー式シートリフター ●リアシート 6:4分割可倒式シートバック ●リアシート センターアームレスト(カップホルダー×2)				
	運転席ラチェットレバー式シートリフター	○	○	—	
	運転席10Wayパワーシート&ドライビングポジションメモリー機能 (シート位置/アクティブ・ドライビング・ディスプレイ/ドアミラー角度)	—	—	○	
	運転席&助手席シートヒーター	—	—	○	
	シート材質	クロス クロス+合成皮革	○ —	○ —	— ○
■空調	[全車標準装備] ●フルオートエアコン				
■オーディオ・他	[全車標準装備] ●FMラジオ ●地上デジタルTVチューナー(フルセグ) ●外部接続ハブ(USB端子×2/HDMI端子/ナビゲーション用SDカード専用スロット) ●プリントアンテナ(ラジオ用) ●ハンズフリーマイク ●Apple CarPlay ●Android Auto™ ●Bluetooth® ●車載通信機(SOSボタン)				
	AC150W電源	△	△	○	
	AC1500W電源	△	△	○	
	オーディオシステム	マツダ・ハーモニック・アコースティックス+8スピーカー ボーズサウンドシステム(AUDIOPILOT2+Centerpoint2)+12スピーカー※5	○ —	○ —	— ○
	ナビゲーション用SDカード アドバンス	▲	▲	▲	
■シャシー&メカニズム	[全車標準装備] ●SKYACTIV-VEHICLE ARCHITECTURE(スカイアクティブ ビークル アーキテクチャー) ●SKYACTIV-VEHICLE DYNAMICS(スカイアクティブ ビークル ダイナミクス)、エレクトリック G-ベクタリング コントロール プラス(e-GVC Plus) ●電動パワーステアリング ●スタビライザー(フロント) ●電動パーキングブレーキ(EPB) *EPB:Electric Parking Brake ●オートホールド ●回生協調ブレーキ ●ボンネットインシュレーター ●モーターペダル ●EVサウンド ●バッテリー冷却システム ●高電圧保護構造 ●急速充電ポート(CHADEMO規格) ●普通充電ポート ●充電ポートライト ●V2L/V2H対応(給電機能)				
	215/55R18 95Hタイヤ&18×7インチアルミホイール(シルバー塗装)	○	○	—	
	215/55R18 95Hタイヤ&18×7インチアルミホイール(高輝度ダーク塗装)	—	—	○	
■セキュリティ・他	[全車標準装備] ●イモビライザー(国土交通省認可品) ●パワードアロック ●車速感応式オートドアロック(衝撃感知ドアロック解除システム付) ●プッシュボタンスタートシステム ●イルミネーテッドエントリーシステム ●3kW普通充電ケーブル ●充電ケーブル収納ケース ●パンク修理キット ●タイヤ交換用工具				
	電波式キーレスエントリーシステム(アンサーバック機能付、リアゲート連動)&電波式キー×2	○	—	—	
	アドバンストキーレスエントリーシステム(アンサーバック機能付、リアゲート連動)&アドバンストキー×2	—	○	○	

※5:ボーズサウンドシステム装着車は、サブランクボックスの形状が異なります。

●SRS:Supplemental Restraint System(補助拘束装置) 運転席&助手席エアバッグ、運転席ニーエアバッグは横方向や後方からの衝撃、横転および転覆した場合や正面からの衝撃が小さい場合には作動しません。カーテン&フロントサイドエアバッグは横方向からの衝撃を感じた場合、感知した側が作動しますが、正面や後方からの衝突時や衝撃が小さい場合には作動しません。すべてのSRSエアバッグはシートベルトをしたうえで補助拘束装置です。シートベルトは必ず装着してください。●Apple CarPlayは、米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。●Android Autoは、Google LLCの登録商標です。●アドバンストキーレスエントリーシステムおよび電波式キーレスエントリーシステムを電波障害となるような機器(携帯電話、PDAなど)と重ねて携帯した場合、機能しないことがあります。その際は、キーを離してご使用ください。●寒冷地仕様を特に設定しておりません。全車寒冷地を考慮した仕様となっております。●メーカーオプションにつきましては「Price&Maker Set Options(価格&メーカーセットオプション)」をご確認ください。

機種名		EV	EV Basic Set	EV Highest Set	
■シート	材質	クロス	クロス	クロス+合成皮革	
	カラー	グレー/ブラック	グレー/ブラック	ブラック/ブラウン	グレー/ホワイト
■ボディカラー	アークティックホワイト	○	—	—	—
	ポリメタルグレーメタリック	○	○	○	○
	ジェットブラックマイカ	○	○	○	○
	マシニンググレープレミアムメタリック※1	○	○	○	○
	セラミックメタリック	○	○	○	○
	ソウルレッドクリスタルメタリック(2トーン)※2	—	—	○	○
	ジルコンサンドメタリック(2トーン)※3	—	—	○	○
	ジェットブラックマイカ(2トーン)※3	—	—	○	○
セラミックメタリック(3トーン)※3	—	—	○	○	

※1:マシニンググレープレミアムメタリックは特別塗装色のため、メーカー希望小売価格55,000円(消費税抜き価格50,000円)高となります。※2:ソウルレッドクリスタルメタリック(2トーン)は特別塗装色のため、メーカー希望小売価格110,000円(消費税抜き価格100,000円)高となります。※3:ジルコンサンドメタリック(2トーン)、ジェットブラックマイカ(2トーン)およびセラミックメタリック(3トーン)は特別塗装色のため、メーカー希望小売価格66,000円(消費税抜き価格60,000円)高となります。

Price&Maker Set Options (価格&メーカーセットオプション)

▲:セットオプション

メーカー希望車両本体小売価格 ()内は消費税抜き価格			
<input type="checkbox"/> EV	¥4,510,000 (¥4,100,000)		
<input type="checkbox"/> EV Basic Set	¥4,587,000 (¥4,170,000)		
		メーカーセットオプション価格	組合せ表
AC1500W/AC150W電源		¥66,000 (¥60,000)	▲
		メーカーセットオプション合計	¥66,000 (¥60,000)

メーカーオプション設定なし		
機種名	EV Highest Set	
	Industrial Classic (ブラック/ブラウン)	Modern Confidence (グレー/ホワイト)
■メーカー希望小売価格 ()内は消費税抜き価格	¥5,016,000 (¥4,560,000)	

●メーカーオプションはご注文時に申し受けます。メーカーの工場で装着するため、ご注文後はお受けできませんのでご了承ください。

◀ リサイクル料金表 ▶

車名	リサイクル預託金				資金管理料金	合計
	シュレッダーダスト料金	エアバッグ類料金	フロン類料金	情報管理料金		
MX-30	¥8,180	¥2,700	¥0	¥130	¥290	¥11,300

- 本カタログに記載の価格はメーカー希望小売価格(消費税10%込み)です。価格については販売会社が独自に定めておりますので、詳しくは各販売会社におたずねください。また、保険料、税金(消費税除く)、登録などに伴う諸費用や、各販売会社でセットする付属品の費用は別途申し受けます。●記載の価格には、パンク修理キット、タイヤ交換用工具が含まれています(ジャッキは含まれておりません)。
- 別途リサイクル料金が必要となります。

機種別減税対象車

●機種別減税対象につきましては、オフィシャルサイト内のエコカーラインナップ(<https://www.mazda.co.jp/purchase/eco/>)をご覧ください。営業スタッフにおたずねください。



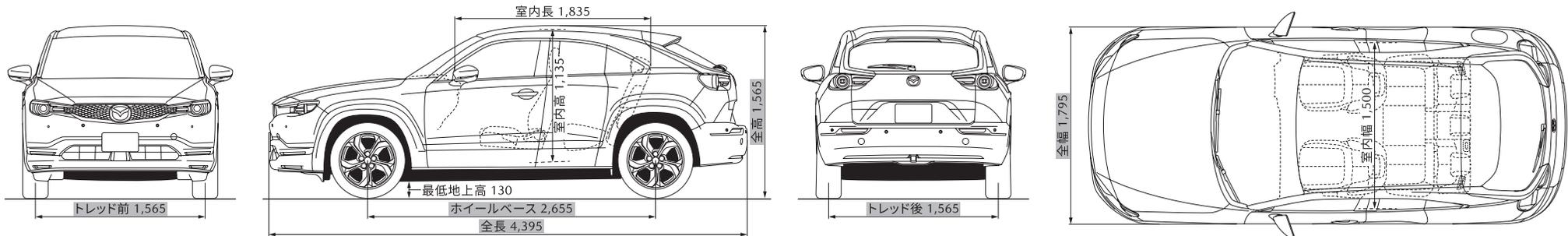
機種名	EV/EV Basic Set/EV Highest Set		
	2WD (FF)		
■車名・型式		マツダ・ZAA-DRH3P	
■原動機	型式	MH型	
	定格出力	kW 80.9	
■電力消費率	交流電力量消費率 (国土交通省審査値)*1	WLTCモード*2	Wh/km 145
		市街地モード (WLTC-L)	121
		郊外モード (WLTC-M)	129
		高速道路モード (WLTC-H)	152
	JC08モード	Wh/km 131	
一充電走行距離 (国土交通省審査値)*1	WLTCモード*2	km 256	
	JC08モード	km 281	
■排出ガス	適合規制または認定レベル	電気乗用車 排出ガス規制の適用を受けない自動車	
■車外騒音	適合規制レベル	平成28年騒音規制 (M1A2A) 適合	
	加速/定常/近接	dB (A) 70 (規制値) / - / -	
■エアコン冷媒	種類 (GWP値*1)・使用量	HFO-1234yf (1*2)・1,210g	
■車室内VOC		自工会目標達成 (厚生労働省室内濃度指針値以下)	
■環境負荷物質	鉛*3	自工会2006年目標達成 (1996年時点の1/10以下) 使用部品: 電子基板・電気部品のはんだ、圧電素子など	
	水銀*4	自工会目標達成 (2005年1月以降使用禁止)	
	六価クロム	自工会目標達成 (2008年1月以降使用禁止)	
	カドミウム	自工会目標達成 (2007年1月以降使用禁止)	
■リサイクル	リサイクルし易い材料使用部品	バンパー、内装材などにリサイクルし易い熱可塑性樹脂を使用	
	樹脂、ゴム部品への材料表示	あり	
	植物由来素材使用部品	コンソールトレイ&パネル	
	リサイクル材使用部品	アンダーカバー等	

*1: 交流電力量消費率および一充電走行距離は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境 (気象、渋滞等) や運転方法 (急発進、エアコン使用時等) に応じて値は異なります。電気自動車は、走り方や使い方、使用環境等によって航続可能距離が大きく異なります。*2: WLTCモードは、市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モードです。市街地モードは、信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定、郊外モードは、信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定、高速道路モードは、高速道路等での走行を想定しています。

*1: GWP: Global Warming Potential (地球温暖化係数) *2: フロン法において、カーエアコン冷媒は、2023年度までにGWP150以下 (対象の乗用車における国内向け年間出荷台数の加重平均値) にすることを求められております。*3: 鉛バッテリーは回収ルートが確立されていますので対象外となります。

*4: ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンビネーションメーター、ディスチャージヘッドランプ、室内蛍光灯 (交通安全上必須な部品の極微量使用を除外)

EV 単位 (mm)



●寸法は、社内測定値となります (■部を除く)。

2022年10月現在のものです

■車種	ボディタイプ	ステーションワゴン			
	機種名	EV/EV Basic Set/EV Highest Set			
	駆動方式	2WD (FF)			
■原動機タイプ	e-SKYACTIV EV(イー・スカイアクティブ・EV)				
■車名・型式	マツダ・ZAA-DRH3P				
■寸法・重量・定員	全長×全幅×全高	mm	4,395×1,795×1,565		
	室内寸法(長さ×幅×高さ)※1	mm	1,835×1,500×1,135		
	ホイールベース	mm	2,655		
	トレッド	前/後	mm	1,565	
	最低地上高※1	mm	130		
	乗車定員	名	5		
	車両重量	kg	1,650		
	■ステアリング・サスペンション・ブレーキ	ステアリング※1	ラック&ピニオン式		
サスペンション		前/後	マクファーソンストラット式/トーションビーム式		
ブレーキ		前/後	ベンチレーテッドディスク/ディスク		
■原動機	型式	MH型			
	種類	交流同期電動機			
	定格電圧	V	355		
	定格出力	kW	80.9		
	最高出力※2	kW(PS)/rpm	107(145)/4,500-11,000		
	最大トルク※2	N・m(kgf・m)/rpm	270(27.5)/0-3,243		
■駆動用バッテリー	種類	リチウムイオン電池			
	総電力量	kWh	35.5		
	個数		192		
	容量	Ah	100		
■性能	交流電力量消費率 (国土交通省審査値)※1	WLTC ^{EU} ※2	Wh/km	145	
			市街地モード(WLTC-L)	121	
			郊外モード(WLTC-M)	129	
			高速道路モード(WLTC-H)	152	
	一充電走行距離 (国土交通省審査値)※1	JC08 ^{EU} ※2	Wh/km	131	
			WLTC ^{EU} ※2	km	256
			JC08 ^{EU} ※2	km	281
最小回転半径	m	5.3			
■動力伝達装置	最終減速比	9.986			

※1: 交流電力量消費率および一充電走行距離は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用時等)に応じて値は異なります。電気自動車は、走り方や使い方、使用環境等によって航続可能距離が大きく異なります。※2: WLTCモードは、市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モードです。市街地モードは、信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定、郊外モードは、信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定、高速道路モードは、高速道路等での走行を想定しています。

※1: 社内測定値および社内呼称。※2: 〈 〉内は旧単位での参考値です。

■道路運送車両法による型式指定申請書数値 ◆仕仕様・装備は予告なく変更する場合があります。 ■製造事業者: マツダ株式会社

●後席もシートベルト。チャイルドシートも忘れずに。発進・加速はゆるやかに。エコドライブを心がけよう。

(このカタログについてのお問い合わせ先) お近くの販売会社または ☎ マツダ(株) コールセンターへどうぞ。

全国共通フリーダイヤル ☎0120-386-919 受付時間 平日9:00~17:00 土・日・祝日9:00~12:00 13:00~17:00

掲載の画像は撮影・印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。また、ボディカラー及び内装色が実車と違って見えることがあります。

本カタログの画像は合成です。このカタログは2022年9月現在のものです。地球環境にやさしい印刷用紙を使用しています。



マツダ会社案内・マツダサステナビリティレポート【ダイジェスト版】
https://www.mazda.com/globalassets/ja/assets/csr/redirect/sr_d.html



マツダ株式会社 〒730-8670 広島県安芸郡府中町新地 3-1
 マツダオフィシャルサイト www.mazda.co.jp/

39K3E050_2209D